

一社) 麒麟のまち観光局

令和 7 年度事業の進捗状況及び令和 8 年度の事業計画・予算 (案) について

1 令和 7 年度事業の進捗状況について

①公益事業負担金事業

事業名	事業費	実施状況
観光 DX 事業 (このへん共和国)	15,630 千円	<p>■ 会員登録数：18,683 人 (うち圏域外 14,912 人) ※9/末</p> <p>■ 圏域参画事業者数：232 店舗</p> <p>①日本遺産周遊キャンペーン (5/27～7/31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：対象スポット 3 カ所以上巡った方にクーポン等進呈 ・発行枚数：参加者 1,922 人→3 スポット以上周遊 594 人、5 スポット以上周遊 500 人、10 スポット以上 382 人 <p>②城めぐりアプリ連動周遊キャンペーン (8/4～1/12) ※実施中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：対象スポット 3 カ所以上巡った方にクーポン等進呈 ・発行枚数：参加者 1,809 人→3 スポット以上周遊 878 人、5 スポット以上周遊 798 人、10 スポット以上 593 人 <p><今後></p> <p>■ 日本遺産開発グルメ周遊キャンペーン (1/下旬～3/末予定)</p>
マーケティング事業	1,500 千円	<p>圏域を訪れる旅行者を対象に WEB アンケート調査を実施し、分析とフィードバックを行う→9/末件数：2,300 件</p>
インバウンド事業	7,510 千円	<p>①ローカル鉄道 (若桜鉄道、智頭急行) を活かした周遊促進事業</p> <p>→■ 日本遺産ガイド付き着地型商品コンテンツの磨き上げ 4 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ MIYABI (日本旅行欧州向け OTA) コンテンツ掲載 3 件 ■ OTA 掲載 (8 商品を WAMazing 英語サイトへ掲載) ■ 八頭町日本遺産まち歩き新規ツアー「若桜鉄道もりあげ隊と巡る若桜鉄道途中下車の旅」の造成 ■ FAM ツアー実施(9/20～23) 1 人招致(イタリア旅行会社) <p>②JTRWeb※を活用した JR 乗車券とのセット商品販売</p> <p>→JR 乗車券と観光コンテンツ (29 業者) のセット商品を販売中 (9 月末販売枚数 4,128 枚)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>JTRWeb</p> <p>香港に拠点を持つ旅行会社 JTRweb Limited が、観光施設・飲食店の商品電子チケットを連携する海外旅行会社 (約 800 社) で販売するシステム。※2022 年 JR 西日本と業務提携</p> </div> <p>③インバウンド受入環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 在日旅行会社・ランドオペレーター営業 (JTB、阪急、KNT) ■ JNTO・広域連携 DMO 営業 ■ 関西インバウンドミーティング、関西インバウンド交流会等の参加 ■ インバウンド向けアンケートの実施 (9 月開始→回収数 71 件) <p><今後></p> <p>10/15 開設の圏域観光多言語サイトの活用、海外商談会 (3 月台湾) 参加、JNTO 広域連携プロモーション (フランスインフルエンサー招致) などを予定</p>
計	24,640 千円	<p>鳥取市：18,988 千円</p> <p>6 町：5,652 千円→岩美・香美・新温泉 各 777 千円</p> <p>→若桜・智頭・八頭 各 1,107 千円</p>

<参考資料>

観光 DX 事業

区分	利用状況
会 員 数	18,683 人（うち圏域外 14,912 人） →圏域外 14,912 人のうち訪問頻度 10 回以上が 30.3%（初来訪 23.6%） （圏域外の構成：兵庫県、大阪府、岡山県、広島県、東京都、京都府が上位） →趣味嗜好：旅行、歴史文化、アニメ、鉄道好きの構成比が増加傾向
参 画 事 業 者 数	232 店（鳥取 112 岩美 14 若桜 8 智頭 12 八頭 17 香美 38 新温泉 31）
キャンペーン分析	①日本遺産周遊キャンペーン（5/27～7/31） 参加者：1,922 人（うち圏域外 1,532 人） クーポン使用先：道の駅岩美が最も多く、次いで道の駅はくたが続く 傾 向：40～60 代の構成比が高く、兵庫県が最も多く、次いで外国人観光客、大阪府、岡山県、広島県、東京都、京都府が続く。 ②城めぐりアプリ連動周遊キャンペーン（8/4～1/12） 参加者：1,809 人（うち圏域外 1,462 人） クーポン使用先：道の駅岩美が最も多く、次いで道の駅気楽里が続く 傾 向：50 代の構成比が高く、兵庫県が最も多く、次いで大阪府、岡山県、愛知県、京都府、東京都が続く。

マーケティング事業

- 回答件数：2,300 件（男 1,059 名 女 1,209 人 無回答等 32）
→年齢 10 代以下：77 人 20 代：180 人 30 代：318 人 40 代：505 人
50 代：721 人 60 代：384 人 70 代以上：110 人 無回答：5
- 居住別割合：圏域在住者 15.9% 圏域外在住者 84.1%
※圏域外上位：兵庫県、大阪府、東京都、岡山県、京都府、広島県など
- 結果から見える主な傾向
 - ・前年から消費単価が増加。
 - ・近畿地方からの訪問者が減少し、関東地方の割合が増加。
→大阪・関西万博の開催から近畿圏の訪問者が減少。関東地方の増加は鳥取市宿泊キャンペーンの影響と推察。
 - ・旅マエの情報の入手源は鳥取市観光コンベンション協会 HP が 1 位。SNS 動画サイトから個人による情報入手が増加。
 - ・鳥取砂丘の訪問割合が増加（大阪・関西万博の鳥取県ゾーンによる PR 効果）
 - ・マイカーでの来訪が全体の 80%以上で割合は増加傾向
 - ・40%以上が訪問回数 10 回以上のリピーター。初来訪者の割合が前年から減少（旅行先が万博）

インバウンド事業

①ローカル鉄道（若桜鉄道、智頭急行）を活かした周遊促進事業

- 日本遺産ガイド付き着地型商品コンテンツ化に向けたガイド研修の実施（8/20）・コンテンツの磨き上げ
→鳥取市：白うさが導く縁結びウォーク（9/19 関係者協議実施）
若桜町：若桜鉄道もりあげ隊と一緒に巡る日本遺産ローカル鉄道若桜鉄道途中下車の旅（7/3.9/18 関係者協議実施）
智頭町：（仮）杉のまち智頭宿をガイドとめぐるウォーキングツアー（7/2.9/19 関係者協議実施）
八頭町：（仮）鉄道と雪国の宿場町 若桜宿の暮らしに触れるウォーキングツアー（5 月～7 月に関係者協議 2 回実施ほか→12 月初旬にモニターツアー予定）

②JTRWeb を活用した JR 乗車券とのセット商品販売

参画事業者 29 件

鳥 取 市：砂の美術館、多鯰ヶ池レイクカヤック体験、炭火焼ジュジュアン、たくみ割烹店、渡辺美術館
鳥取民藝美術館、海陽亭、砂丘会館、砂丘センター、温泉旅館丸茂、イワドベース 1 1

岩 美 町：浦富海岸 SUP 体験、浦富海岸島めぐり遊覧船、アルマーレ 3

若 桜 町：若桜鉄道、太田酒造場、URUWASHI JAPANESE TEA、若桜町観光協会 4

智 頭 町：みたき園、ちずぶるー、智頭町観光協会 3

八 頭 町：大江ノ郷、八頭町観光協会 2

香 美 町：KAN-ICHI、香住鶴、たじま高原植物園 3

新温泉町：井づつや、但馬ビーフレストラン 楓、リフレッシュパークゆむら 3

<インバウンド向けアンケート>

9 月から開始（鳥取市内の宿泊施設 5 件、高速バス・空港連絡バス、鳥取市国際観光客サポートセンター、鳥取砂丘ビジターセンター、砂の美術館、山陰松島遊覧、砂丘アクティビティ 3 件 計 14 地点で実施）



2 令和8年度の事業計画・予算（案）について

予算費目	事業名	事業費	内 容
運 営 負 担 金		39,500 千円	鳥取市:33,500 千円 6 町: 6,000 千円 (町@1,000 千円)
公益事業 負 担 金	観光 DX 推進事業	13,130 千円	「このへん共和国」を利用した各種キャンペーンの実施 →①特定顧客向けキャンペーンの実施 (歴史・鉄道・グルメ等を予定) ②各市町での「このへん共和国」活用促進 (岩美 FREE・八頭隼祭り等を予定) ③周遊促進キャンペーンの実施 (日本遺産の食など予定)
	マーケティング事業	7,500 千円	①圏域旅行者対象のウェブアンケート調査の継続及び分析とフィードバック 1,500 千円 ②ホームページマーケティング 6,000 千円 →圏域観光サイトの閲覧履歴、嗜好性、周遊ニーズ等の取得や提案機能を付加したシステム導入によるニーズの把握
	インバウンド事業	8,938 千円	■JTRWeb を活用した JR 乗車券とのセット商品販売の継続 1,500 千円 →JR 乗車券と観光コンテンツのセット商品を販売 ■外国人観光客アンケートの実施と分析 2,224 千円 ■商談会 (国内・台湾等) ・営業 1,841 千円 ■PV 動画作成 (7 市町 + 砂丘 計 8 本) 2,062 千円 ■FAM ツアー (JNTO と連携した 2 泊 3 日 ツアー を 3 本 予定) 708 千円 ■観光事業者 & ガイド勉強会開催 603 千円
	観光二次交通 利用促進事業 (個別事業)	7,500 千円	このへん共和国加盟店と連携した観光クーポン配布による高速バス大阪線 (若桜経由便) の利用促進 7,500 千円 (クーポン原資、広報費ほか) ※鳥取市、若桜町、八頭町 各 2,500 千円
	小 計	37,068 千円	鳥取市: 26,152 千円 4 町: 3,944 千円 2 町: 6,972 千円
合 計		76,568 千円	鳥取市: 59,652 千円 4 町: 7,944 千円 2 町: 8,972 千円

